



ほっと アングル

はつけよいのこつた

寒い冬に負けないたくましい体をつくり、相撲を通して友情を深めてもらおうと「すもう大会加茂野場所」が開かれ、園児たちが体をぶつけ合って熱のこもった取組を繰り広げました。仲間が熱い声援を送る中、手作りのまげとまわしを身に着け、直径180センチの円を描いた土俵上で力と技を競いました。

1月 17日(水)：加茂野保育園



上手に演技できたかな

日本の古典芸能に親しんでもらおうと「小中学校芸術鑑賞教室」が開催され、市内と富加町の小学6年生と中学1年生が、歌舞伎の魅力を学びました。児童生徒の代表がステージに上がり、前進座の皆さんとの指導で縄を使った立ち回りに挑戦しました。その後、「土蜘蛛退治 第3幕」が上演され、初めて見る歌舞伎の世界を楽しんでいました。

1月 31日(水)：文化会館



「おにはそと、ふくはうち」

節分を前に、下米田保育園で「豆まき」が行われ、園児90人が元気に鬼退治をしました。普段から交流のある、特別養護老人ホーム「さわやかナーシングビラ」の職員が扮(ふん)する赤鬼と青鬼が教室に入ると、園児たちは「鬼は外、福は内」と言いながら、鬼に向かって元気よく豆を投げていました。

2月 2日(金)：下米田保育園



議会を体験

市政やまちづくりに積極的に参画する意識を培うことを目的に「女性議会」(模擬)が開催され、14人の女性議員(模擬)が学習会と、調査・研究を重ねて、市政に関する質問を行いました。質問は、生活者の視点からの「教育」や「防災」、「多文化共生」など、多岐にわたりました。

1月 24日(水)：市議会議場



響け歌声…3年間の思いを込めて

仲間とともに一つの曲を作り上げる喜びを味わうことを目的に、西中学校の全校生徒が参加して「活動継承の会(合唱の部)」が行われました。3年生の学級合唱コンクールでは、「未来」「明日に渡れ」など今の自分、あるいはこれからの自分の心境に重ね合わせた曲を披露し、多くの拍手を浴びていました。

2月 7日(水)：文化会館



滑れるようになつたよ

スキーの初歩を体験してもらおうと、「市民スキー教室」が行われ、小学4年生以上の約50人が、初級・中級・上級のレベル別に分かれて、スキー協会および一般応募の指導者12人に指導を受けました。初めてスキーの板を履いた子も多く、午前中は転倒の繰り返しだったが、午後には滑れるようになりました。

1月 28日(日)：ひだ舟山スノーリゾートアルコピア